

Gisèle Sapiro

École des hautes études en sciences sociales
(EHESS)

Le champ littéraire français sous l'Occupation allemande

Le 27 septembre 2017, 15h - 18h



ジゼル・サピロ

社会学者。フランス国立社会科学高等研究院（EHESS）研究主任。日本語で読める書籍に『文学社会学とはなにか』（鈴木智之・松下優一訳、世界思想社）、論文に「20世紀フランスにおけるアンガジュマン・モデル」（石崎晴己・立花英裕編『21世紀の知識人 フランス、東アジア、そして世界』、藤原書店）などがある。

2017年9月27日（水）15時より18時

京都大学人文科学研究所 本館1階 セミナー室1

Institut des Recherches en Sciences humaines

Université de Kyoto, Salle de séminaire 1

市バス「京大農学部前」下車

<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/zinbun/access/access.htm>

使用言語：フランス語・通訳あり

問い合わせ先：藤井俊之 fjit@zinbun.kyoto-u.ac.jp

ジゼル・サピロ講演会
ドイツ占領下におけるフランスの文学場